

区議会だより

発行／江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
☎ダイヤルイン5662-6736
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

203号の 主な記事

- 第4回定例会概要、新年のあいさつ……………1ページ
- 区長提出議案、議員提出議案、請願・陳情の処理状況…2ページ
- 代表質問、一般質問……………3～5ページ
- 江戸川区議会会派別議員一覧……………6ページ

第4回定例会日程

- 11月24日……………議案上程、委員会付託
- 28日……………代表質問、一般質問
- 29日……………表決、一般質問
- 30日……………議案審査
- 12月 1日……………請願・陳情等の審査
- 6日……………委員会報告及び表決

平成23年第4回定例会

補正予算を含む議案11件を可決

議員の期末手当を減額する 条例改正と意見書1件を可決

平成23年第4回定例会は11月24日から12月6日までの13日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、希望の家新館建設工事費や特別養護老人ホーム建設補助費などを計上した補正予算を含む11件の議案と報告3件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは「江戸川区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」が11月29日の本会議に、「固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書」を含む2件の議案が12月6日の本会議に提出され、継続審査となった1件を除きそれぞれ可決さ

れました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局の会議録をご覧ください。



干支鈴（希望の家利用者作成）

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします

区民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。平成24年の新春を迎え、江戸川区議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は大変な年でした。3月11日の東日本大震災、続く福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染、計画停電、猛暑の中の節電の取り組み等に多くの方が戸惑いましたが、決然と混乱に対峙し、成果を収めた年でもありました。社会を構成する人・団体がそれぞれの力の中での懸命の努力により、危機を乗り越え新しい年を迎えることができ、うれしく思っています。

一方では、気づかされたこともありました。それは、2011年を表す漢字にも選ばれた「絆（きずな）」を再確認できたことです。混乱の中、家族の大切さ、被災された方々への支援の大切さが思い起こされ、支援の輪が広がりました。

被災地のために江戸川区に届けられた3億7千万円を超えた募金、被災地へ支援に向かわれた人、自らの仕事の中で精一杯努められた人、そして、気仙沼市をはじめとして浦安市

や仙台市などに派遣された多くの区職員、どれにも絆の深まりを感じます。

しかし、大震災はまだ収束したわけではありません。復旧復興とこれからは正念場と言えます。同時に、わがまち江戸川区の地勢も災害に強いまちというわけではありません。地勢は与えられた条件であり、必要な態勢準備に努めることが必要です。

災害を過度に恐れることなく、風評に振り回されることなく、客観的・合理的な視点の中で行動できる江戸川区議会でありたいと思っています。

この1年が実りある年になることを願って、年頭のあいさつといたします。

平成24年新春

江戸川区議会 議長 島村和成
副議長 竹内すすむ

区長から出された議案

●予算

- 平成23年度江戸川区一般会計補正予算(第3号)
希望の家新館建設工事費や特別養護老人ホーム建設補助費など13億6826万円を追加し、総額2281億8451万9千円とする。
平成23年度江戸川区一般会計補正予算(第4号) ※1
給与関係費8700万円を減額し、総額2280億9751万9千円とする。
平成23年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
国民健康保険料決定通知書等の作成等委託及び国保健診受診券等の作成等委託による債務負担行為の計上。
平成23年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ※1
給与関係費1400万円を追加し、総額711億650万6千円とする。
平成23年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
介護保険料額決定通知書等の作成等委託による債務負担行為の計上。
平成23年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
後期高齢者医療保険料額決定通知書等の作成等委託による債務負担行為の計上。

●条例(一部改正)

- 江戸川区保育所条例 ※2
社会福祉法人えどがわによる運営へ移行するため、清新第四保育園及び小松川第一保育園を廃止する。
江戸川区立学校設置条例 ※3
小岩第一幼稚園を廃止する。
職員の給与に関する条例 ※1
幼稚園教育職員の給与に関する条例 ※1
特別区人事委員会の勧告どおり、公民較差(0.20%)の解消のための給料の額の引き下げを行う。

●その他

- 江戸川区自動車駐車場の指定管理者の指定
指定管理者は野里電気工業株式会社、指定期間は平成24年4月1日から29年3月31日まで。

●報告

- 専決処分した事件の報告
江戸川区の私債権の管理に関する条例の規定に基づき、返済期限が到来している江戸川区生活一時資金貸付金及び江戸川区療養出産資金貸付金の返済を求める訴えの提起について、243件の専決処分を行った。
専決処分した事件の報告
江戸川区の私債権の管理に関する条例の規定に基づき、江戸川区生活一時資金貸付金及び江戸川区三世同居住宅資金貸付金の返済を求める訴えに係る和解について、6件の専決処分を行った。
議決を得た契約の契約変更
臨海球技場第一グラウンド改修工事
建設発生土の運搬先を当初予定していた受入地から変更したことによる増額変更。

※印は賛否の分かれた議案

- ※1 賛成 40 (自由民主党、公明党、民主・ネット・えどがわ、日本共産党、一人の会、無所属クラブ、志士の会、自民党日本)
反対 3 (みんなの党)
※2 賛成 35 (自由民主党、公明党、民主・ネット・えどがわ、無所属クラブ、志士の会、自民党日本)
反対 8 (日本共産党、みんなの党、一人の会)
※3 賛成 37 (自由民主党、公明党、民主・ネット・えどがわの一部、みんなの党、一人の会、無所属クラブ、志士の会、自民党日本)
反対 6 (民主・ネット・えどがわの一部、日本共産党)

※印以外の議案は全会一致で可決

平成24年第1回定例会開催予定

Table with 2 columns: Date and Meeting Name. Includes dates from Feb 20 to Mar 23 and meeting types like '本会議(議案上程、委員会付託)', '予算特別委員会', '常任委員会(議案審査)', etc.

議員から出され議決された議案

―意見書は各関係機関に送りました―

●江戸川区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(全会一致)

近年の厳しい社会経済情勢や公務員給与の動向を踏まえ、平成24年3月に支給する期末手当について、支給月数を「100分の25」から「100分の10」に変更し、0.15カ月引き下げる。

●固定資産税及び都市計画税の減免措置の継続に関する意見書(全会一致)

【東京都知事 あて】
小規模住宅用地の都市計画税を2分の1に軽減、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税を2割減額、商業地等の固定資産税・都市計画税について負担水準の上限を65%とする措置の24年度以降の継続を東京都に求める。

皆さんから出された請願・陳情

●今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの 付託委員会名

Table with 3 columns: No., Content, and Committee Name. Lists items 62-70 regarding topics like '堤防強化', '固定資産税', 'TPP参加問題', etc.

●今回の定例会で結果が出されたもの 結果

Table with 3 columns: No., Content, and Result. Lists items 9-67 with results like '不採択(35:8)', '採択(全会一致)', etc.

※ 議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

●今回の定例会で取り下げられたもの

Table with 2 columns: No. and Content. Lists items 2, 12, 13, 49 regarding topics like '保育の必要度', '家賃見直し', etc.

区政への質問

11月28日に代表質問及び一般質問、29日に一般質問が行われ、活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

代表質問



**より一層の行財政改革を！
生活保護者への自立強化を！**

自由民主党
福本 みつひろ

問 今後の財政の見通しと行政運営について
①本区は財源の多くを特別区交付金や国の支出金に依存しており、財政基盤は盤石とは言えない。現在、来年度の予算編成時期を迎えているが、今後の財政の見通しは。

②扶助費の増大や景気低迷による税収減など自治体を取り巻く環境は厳しくなることが予測される。時代に適した施策の見直し、区民サービスのあり方も考えなければならない中、今後の行政運営についての決意を。

答 ①来年度予算は、歳入が大幅に減る見込みなので、歳出をどう考えるか、基金を取り崩すかということになる。経済情勢が好転する見込みがはっきり立たない中では、毎年基金を取り崩すわけにはいかない。区政万般の施策の見直しが必要となるが、一気に見直すことはできないので、できる所から行ってきたい。

②本区や特別区の施策のレベルは高い。今後特別区交付金が減る一方ならば、施策の見直しに手をつけなければならない。また、東京バッシングもあり、国がどのような制度変革を迫ってくるかわからない。手厚い施策の見直しも考えなければならない状況にある。

問 今後の公共施設のあり方について

①道路・橋などのインフラ資産や、公園を含むさまざまな区民施設の老朽化への対応は。

②少子高齢・人口減少社会に対応した公共施設の再配置は。

答 ①財源のルールが不安定となっているので、今後の動きを見極めながら考えていくことになる。

②人口構造の変化に見合った区民施設のあり方を求めていかなければならない。皆でオープンな議論をして、将来展望をつくる態勢を長期計画の中で位置づけていきたい。

問 健康増進の取り組みについて

①がんは、早期発見・早期治療により、治すことができる病気であることから、各種がん検診の受診率向上を。

②80歳になっても自分の歯を20本以上保つ8020運動の積極的なPRを。



成人歯科検診

答 ①受診率が低いので大いに受診率向上の運動を盛り上げていきたい。

②歯科医師会と協力して8020運動を展開してきた。今後も拡大するよう取り組んでいく。

問 生活保護制度について

①今後も、さまざまな要因でますます受給者の増加が予測されるが、見通しは。

②働ける人への就労支援プログラムの重点実

施や受給開始後のチェック機能を強化し、就労・自立支援のさらなる強化を。

答 ①増え続ける熟年者の数を抑え込むことはなかなかできない。熟年者の数の推移はある程度見当はつくが、経済の見通しがわからないので、職を失って困窮状態になった方の人数を予測するのは難しい。

②自立支援のために、担当係の設置や専門事業者の協力を得るなど、力を入れている。受給が長期化するとその生活に慣れて、抜け出せなくなるので、早期の立ち直りに取り組み、成果を上げていきたい。



**放射線対策の継続を！
熟年者福祉の充実を！**

公明党
伊藤 てる子

問 元気な熟年者の活躍の場として、生きがい就労や社会貢献の場づくりなどの熟年者福祉についての考えは。

答 地域コミュニティの中のさまざまな分野で、人生の生きがいをどこに見つけ、どう実現していくかが重要である。熟年者が地域コミュニティの中で、自発的に考えて地域貢献に取り組める地域社会を目指すべきと考える。

問 放射線測定に関する今後の対応について
①都立篠崎公園内のモニタリングポストの稼働予定と測定結果の公表は。

②国の「放射線測定に関するガイドライン」に対する区としての取り組みは。

③江戸川清掃工場や葛西水再生センター周辺も含めた放射線量の継続的な測定は。

答 ①都は12月初旬の稼働に向けて準備をしている。測定結果を区のホームページでも見ることができるよう準備していきたい。

②国に準拠した形で対応しているが、区民の問い合わせや相談には柔軟に対応していく。

③江戸川清掃工場と葛西水再生センターの敷地境界では測定を毎月行っており、継続していく。また、6月に測った19か所の施設も再測定を行っていく。

問 「江戸川区歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例」について、看板や広報えどがわ等でも周知し、区民への意識の啓発を。

答 条例では根本的な解決にならないと考えるが、この条例を背景に地域の皆様と今までの取り組みについて、一層徹底していく。

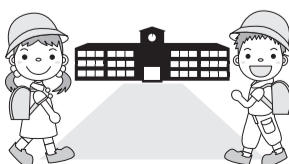
問 災害対策における女性の視点の導入や協議の場への女性の登用を。

答 気仙沼支援に女性を含め多くの職員を派遣しており、体験を集約し、女性の知恵など、今後の行政にできるだけ生かしていきたい。

問 学校選択制について

①学校選択制に関する調査が実施されたが、調査結果を基にどのように検証し見直すのか。

②学校選択制の導入により児童・生徒数が減少した小・中学校に対する区の支援は。



学校選択制

答 ①学校選択制はそれなりの役目を果たしてきた。評価は保護者、学校、地域、それぞれの視点によって異なる。検討会を立ち上げており、制度としては継続することを前提に、課題について十分な議論のうえ、解決に向けた提案をいただきたいと考えている。

②学校自体の努力だけに頼るわけにはいかないが、学校の魅力を学校経営者自らが努力し、できる限り地域に知っていただく機会をつかっていくことに尽きる。地域の方と保護者が、選択するならばこの学校をと思えるように取り組める環境づくりを図っていきたい。

問 今後の小・中連携教育の推進の考えは。

答 来年度、連携については、課題を指定して、教育委員会から働きかける方向で取り組みたい。



**真の区民参画のしくみ・
緊急災害対策・区立幼稚園**

民主・ネット・えどがわ
新村 井玖子

問 区民と区が対等な立場での「協働」「参画」を実現するためには、計画の策定段階から区民の参加が必要である。パブリックコメントやワークショップを形式的に実施するだけでなく、出された意見を反映させる仕組みの確立を。



区民との協働

答 区民と共に行政を考えることは必要である。公募委員やモニター制度など、それぞれ目的や狙いがあるので、一つの考え方を基準として持つことは難しい。どの場面でも意見を聞き、議論をするかは一概には言えない。それぞれ即応したやり方を考えることになる。

問 江戸川区の緊急災害対策について

①災害時要援護者名簿について、名簿に盛り込む項目として、住所氏名だけでなく個々の状態の記入を。また、個人情報の保護と拡散防止のための日常的な管理は。

②区独自の防災リーダーの育成や、大人用・子ども用の紙おむつや生理用品など、女性の視点からの備蓄品の見直しを。

③緊急時にコミュニティFM局の通常放送に割り込んで、災害対策本部から緊急放送を流すシステムの導入を。また、緊急時にコミュニティFM局から信号を受信し、自動で電源が入る「緊急告知ラジオ」の購入費助成を。

答 ①災害時要援護者の状態をどこまで記載し提供するかは、プライバシーの問題を考えると一概には言えず、難しい問題である。名簿管理の仕方も、研究をしなければならない。

②地域での防災訓練を繰り返し、参加している人にリーダーとなるよう働きかけていく。備蓄は考えていかなければならない。

③FM放送に割り込みができるよう、交渉中であり、近く協議が成立すると思う。緊急告知ラジオは便利だが、高価なため、全区民の方々に提供することは難しい。

問 区立幼稚園について

①なぜ2005年に松江幼稚園を廃園した当初から、区立幼稚園を順次廃園していくという考えを示して、区民との話し合いや検討の場を

設けてこなかったのか。また、幼稚園の廃園についての保護者全体への説明は決定した結果の報告であり、あまりに唐突ではないか、区長の見解を。

②区立園の公の役割として、障がい児や養育困難家庭の幼児の受け入れについてどう考えるのか。

③①区立幼稚園の存続・廃止は従前からの課題であり、折にふれ訴えてきている。今回の鹿本幼稚園も、実際に閉園するのは2年先である。松江幼稚園は保育園がなくなることで、鹿本幼稚園は発達障害児の施設への転用、それぞれ理由があり適切なタイミングで行っている。

②今、発達障害、心身障害の方々が、すべて保育園、幼稚園に入れるわけではない。育成室では、本来の心身障害より発達障害のお子さんの人数が多くなり、新たに別施設で対応しなければならなくなった。発達障害はまだ施策として十分確立したものではなく、遅れている。現場の体験の中で、しっかり組み立てていかなければならない。



国保・介護の保険料抑制を住民犠牲スーパー堤防中止

日本共産党
セバタ 勇

問 国民健康保険について

①今後とも保険料抑制のための一般財源投入を削減すべきではないと考えるが。

②広域化に反対し、国が財源に責任を持つ制度とするよう求めてはどうか。

③差し押えや資格証明書の発行は原則としてすべきでないとするが。

④①23区で1千億近い一般財源を投入しており、現実的に減らすことはできない。

②広域化は本質的な解決でないと思っている。

③公正の観点から方針を変えるつもりはない。

問 第5期介護保険事業計画について
①保険料の改定にあたり、基金の取り崩しについてどう考えているか。また、応能負担による段階制の保険料の設定を一層きめ細かくすべきでは。

②「介護予防・日常生活支援総合事業」を選択せず、要支援者への介護保険給付の堅持を。

③介護者支援の充実や特養ホームの増設など、きめ細やかな支援の充実を。



介護者支援の充実

④①検討中で、結論を言う段階でない。

②介護予防を介護保険の枠内枠外でどう調整するか、適切な処理をしていきたい。

③特養の整備は今後も進めていくが、介護保険事業への財政的負担と在宅介護の基盤整備も合わせて考えていく必要がある。

問 北小岩1丁目東部地区スーパー堤防事業について

①地権者が区に対して提訴をしたが、裁判に至る住民の思いをどう受けとめるのか。

②各地で被害がでている盛土による危険性はないといえるのか。

③高齢者世帯に負担の重い密集市街地でのスーパー堤防事業をいったん中止し、住民参加

のまちづくりを。

④①反対の方々には説明し理解を求めてきた。今後もさまざまな努力を続けていく。

②先の地震で被害を受けたスーパー堤防はあるが、これは盛土の材質や工法が古い技術基準のものであった。盛土に関する心配がないよう国に要望していきたい。

③ご不便や負担をおかけするが、低地の密集市街地こそ、地域を守るためには、スーパー堤防をやらなければならないと思っている。

一般質問



**新学習指導要領における
道徳と授業時数の確保**

自由民主党
斉藤 まさたか

問 教育について

①教育の荒廃に歯止めがかからず、教育問題が年々深刻化している。新学習指導要領による道徳教育をどのように考えているか。

②新学習指導要領で授業時間数が増えたにもかかわらず、文部科学省は完全週5日制を堅持している。今年区内の小学校では、年間に4日から6日の土曜日授業が行われている。学校の活性化・基礎学力の向上につながる土曜日授業の復活についての考えは。

④①道徳教育は道徳の時間だけでなく、行事等を含めた全教育活動の中で行っている。周年行事等での立派な態度などは日々の積み重ねでできるものであり、子どもたちにも、不易の部分をしっかり引き継いでもらい、育んでいかなければいけない。

②授業時数自体は、土曜日に毎週授業を組まなくても確保できるということが前提である。土曜日授業は、学校ごとの課題に充てていくことが大事であり、総合的に子どもたちの意欲を育てるような形で進めていきたい。

問 北小岩のまちづくりについて

①「京成本線の連続立体交差事業」及びそれを中核とした「京成小岩駅周辺のまちづくり事業」についての見通しは。

②小岩菖蒲園の花壇の花を増やしては。

③北小岩7丁目・8丁目付近の江戸川の川岸が浸食されていることから、その対応策と護岸を兼ねた釣り場の検討を。

④①京成本線の連続立体は、事業費の負担で都、葛飾区及び京成電鉄の三者で意見が異なっている。この決着がつかないと、本格実施にはならない。具体化すれば現実的な話として進めることができるので、しっかりとした態勢を整えたい。

②花壇をつくり整備してきたが、これまでどおりの支出は、見直しの対象と考えている。

③下流の方から護岸整備をやっているのに、北小岩地区の整備は遅くなっている。木柵等の材料を使い、早く整備できるよう取り組んでいきたい。このことで良い釣り場になると思っている。



**空き家の適正管理・
災害対策の充実を!**

公明党
堀江 そういち

問 空き家の適正管理について

①倒壊等の危険性が高い空き家の実態調査を。

②問題解決に向けての専門的な指導・助言を。

④①状況を監視する意味でも、行政だけでなく、地域の方々と協力して進めていきたい。

②対応が必要な場合は、関係機関の協力を得ながら、私有財産であっても適切な対応ができるよう、一層積極的に取り組んでいく。

問 災害対策について

①各地域で職員や住民へ、避難所運営の体験型訓練(ハグ)を使った研修などの実施を。

②避難所開設時の教職員の責務の明確化を。

③要援護者である障害者や高齢者のために、一次避難所に専門スタッフの配置等を。また、区内の福祉施設等を二次避難所として指定を。

④被災者の情報を一元的に管理する「被災者支援システム」の導入・運用は。

④①避難所運営の体験型訓練は、学校で計画的に行っている。ハグも参考にして、拡大していきたい。

②今、各校に避難所を開設する時には、必ず教員が入ることを前提に配置を進めている。

③地域の方々と、要援護者を助け合っていくことが一番大事であり、スタッフの配置は現実的でない。福祉施設等で二次避難所に該当すべき施設とは、一部で協定を結んでおり、今後も拡大していきたい。

④有用性を検討し、早く採用していきたい。

問 熟年者の特定健診に聴力検査の導入を。

④①聴力検査の導入は考えていない。積極的に耳鼻科を受診してほしいと考えている。

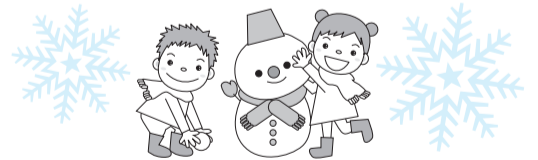
問 子どもの体力向上への取り組みについて

①運動に無縁な子どもたちへの取り組みや、すべての子が楽しく運動に親しめる方法は。

②地域密着のすくすくスクールを体力向上・スポーツ振興の観点で、積極的に生かしては。

④①遊びの要素を取り入れながら、体を動かすことが面白いという機会を増やす努力をしていきたい。

②すくすくスクールは自由に過ごし、多くの方とふれ合う場であり、一定の目的を持って行うことは考えていない。



**子どもたちの安全・
安心・笑顔の為に**

民主・ネット・えどがわ
金井 茂

問 子どもの安全・安心について

①今後の児童相談所の区への事業移管についての考えは。

②民生児童委員と協力・連携をとり、里親家庭に、区がしっかりと支援を。

④①移管に向けて実務的な会議が予定されている。検討が進むよう努力していきたい。

②里親家庭のお話を聞きながら、支援をして

いきたい。

問 葛西水再生センターが東京都の天然ガス発電所の建設候補地となったことについて
①候補地になる過程での都からの説明は。
②区内への供給は。また、環境に対する影響等についての都からの説明は。

答 ①新聞発表の前に概略の説明を受けた。
②さまざまな事柄については、まだまだこれからであり、これから長期間かけて検討をしていくことになるだろうと思う。

問 警視庁、公安委員会に北小岩6・7丁目付近の大型車両の通行規制時間について、通園・通学を避けた時間帯まで延長の要望を。

答 小岩警察も課題にし、実態を調べている最中である。今後、規制時間を延ばすことに向けて小岩警察と協議をしていきたい。



放射線測定と除染を。学校栄養士民託と幼稚園閉園反対。

日本共産党
大橋 みえ子

問 放射線の測定について

①公園の遊具のまわりやすべり台下の測定を。
②区で購入する測定器の区民への貸出しを。
③モニタリングポストとの相関関係が把握できるよう測定を行い、基礎データの作成を。

答 ①清掃等の作業で十分対応できるので、改めて測定する考えはない。
②測定条件で数値が大きく変動することもあるため、貸出しは考えていない。
③稼働に合わせて、6月に測定した19施設の再測定を行い、基礎データとしていきたい。

問 除染あるいは線量低減の対策について
①公的施設の放射線除染について、改めて統一の見解を。

②国の除染基準の改善の申し入れを。
答 ①各施設管理者が対応しており、統一の見解は必要ない。
②改善の申し入れをする考えはない。

問 給食食材などの内部被ばくを防ぐために
①区独自で給食食材の検査を行うべきでは。
②食品の放射線測定器の購入を。

答 ①安心な食材を提供できる態勢が強化されており、改めて検査を行う考えはない。
②検査機器を購入する考えはない。

問 学校給食栄養士民間委託について
①非常勤栄養士の雇い止めをやめるべきでは。
②献立作成で公務員と民間の差がでないか。
③地元業者から食材購入が保障されるのか。

答 ①委託するという方向に転換していき、雇い止めということではない。
②何ら問題はない。
③栄養士でなく、購入契約は学校長の権限で行っており変えるつもりはない。

問 鹿本幼稚園・区立幼稚園の閉園について
①閉園の延期等の検討を。
②幼児教育の公的責任は。
③今後の親子ひろばの具体的な方向性は。

答 ①既定方針どおり行っていく。
②私立幼稚園がその責任を十分果たしている。
③利用者の意向を踏まえ、検討していきたい。



施設の管理と入札制度は区民に分かりやすく

みんなの党
ます 秀行

問 後期の基本計画について

①「施設白書」を作成し、活用すべきでは。
②基本計画に財政見通しを記載すべきでは。
③区の施設を一括して管理する部署の創設を。

答 ①同様のデータは備えているので、施設のあり方を議論する場で活用していきたい。
②財政を取り巻く状況が不安定であり、財政見通しを基本計画では示すことはできない。
③一括管理のメリットは認識しており、今後も議論していきたい。

問 総合評価一般競争入札について

①公共調達基本条例は区民の利益になるのか。
②区内業者等に有利な評価点配分の見直しを。

答 ①長期的・総合的な視点で、区民の利益につながると確信している。
②地域活性化が狙いであり、変更はしない。

問 くつろぎの家の運営に受益者負担を。

答 見直しの話があれば、議論していきたい。

問 条例施行に伴い、喫煙スペースの設置を。

答 要望があれば考えるが、一般化はしない。



明日への道しるべのために

自民党日本
須賀 清次

問 教育についての区長の考えは。

答 「育てて教えるは親の過ち、教えて厳しからざるは師の怠り」という精神をかみしめ、教育にあたってもらいたい。

問 家庭で教えることができない親に代わり、どのように教えるのか。

答 家庭でやるべきことは家庭でやるよう保護者に理解してもらい取り組みをしていきたい。

問 葛西土地区画整理組合事務所跡地を、記憶・記録を残しておく場所としての整備を。

答 地域の方々の意見を伺い、最善なものをつくっていきたい。



水害から守る治水対策・高台づくりについて

自由民主党
大西 洋平

問 国土交通省発表の「高規格堤防整備の抜本的見直しについて」の中では、「人口が集中した区域で、堤防が決壊すると甚大な人的被害が発生する可能性が高い区間に大幅に絞り込んで整備する」としている。本区が真っ先に当てはまると大いに期待している。今後、区として江戸川高規格堤防実現に関して、どのように国に働きかけていくのか。

答 必要だという結論が出た以上、早くやるという決断をさまざまな形で国土交通省に迫っている。政権がこの問題に対する回答を出していない。何としても粘り強く頑張っていきたい。

問 中川左岸の治水対策について

①災害の危険性が非常に高いと考えられる中

川左岸堤防についての考えは。

②「江戸川区における気候変動に適応した治水対策検討委員会」の最終とりまとめが、平成22年4月に出されたが、その後の進捗状況は。

答 ①堤防の強度が最も危惧される場所である。どれだけ時間がかかっても、強化していかなければならないと思っている。

②実施のための計画ではなく、考え方をまとめたものである。将来に生かすよう、その方向にもっていくべく努力していきたい。治水は、数々の災害を受けてきた区民の願いなので、悲願達成のために何をすべきかをしっかり踏まえて、相応の努力をしていく。

問 子ども未来館は、子どもたちの期待に沿う、夢が膨らむ施設である。これまでの利用促進に加えて、平日の有効活用を含め、より一層の充実を。

答 学校・家庭でできない勉強、興味を満たすような勉強ができるような場として、成果を確かめながらよりよいものにしていきたい。



在宅医療の充実と親子ひろばの継続・充実を

公明党
竹平 ちはる

問 がん患者の緩和ケアのために在宅医療体制の充実を。

答 地域で在宅医療等を受けられる在宅療養支援ネットワークの構築に取り組んでいく。

問 流産・死産を繰り返し、元気な赤ちゃんが得られない不育症の支援体制について

①不育症について適切な啓発・周知活動を。

②検査・治療に対する一部公費助成を。

答 ①国がホームページ等で普及啓発を進めている。区も、適切な情報提供に努めたい。
②国においてもいまだ研究段階であるので、区としての助成は考えていない。

問 冬に流行する感染症の予防対策として、区役所1階でのキャンペーンの開催など、早期の啓発・周知活動推進を。

答 感染症予防の基本は手洗いやマスクであり、さまざまな形で情報提供を行っている。キャンペーンについては、実施を検討する。

問 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の啓発・周知活動の推進及び特定健診にCOPDの質問票とあわせてスパイロメトリー検査（肺機能検査）の導入を。

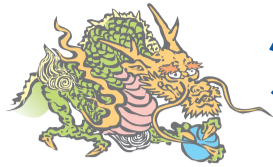
答 禁煙が基本的な予防・治療法なので、生活習慣改善とあわせた周知啓発を行いたい。質問票は欧米人仕様であるので、検討の状況を見守りたい。スパイロメトリーは医療の範疇であり、特定検診への導入は考えていない。

問 閉園となる小岩第一幼稚園の親子ひろば「あいあい」事業の継続及び充実を。

答 小岩小学校改築までの暫定利用として継続し、近接する小岩図書館等とも連携が取れるようにしていきたい。

問 団地の建て替えにより更地となった江戸川2丁目の所有地の今後の方向性は。

答 区で入手したいと考えている。



江戸川区議会会派別議員一覧

氏名
住所
電話
電選番
当選回数
名所
番号
回数

【◎幹事長 ○副幹事長 △幹事】

【会派内の役職・議席番号順】

<p>区議会 自由民主党 15名 直通(5662)5111 http://www.edogawa-j.org/</p>	 ◎高木ひでたか 一之江3-18-3 5661-4608 ③	 ○福本みつひろ 東葛西8-7-33 3877-0541 ③	 ○ふじさわ進一 南小岩6-28-11 3658-0783 ③	<p>江戸川区議会 公明党 13名 直通(5662)5112 http://www.e-komei.com/</p>	 ◎川瀬やすのり 江戸川1-21-23 5636-5530 ④	 ○田中じゅん子 上篠崎3-10-11 3677-4973 ④	 ○中道たかし 大杉1-1-1-703 5607-0835 ②
 △渡部正明 松島4-20-13 3653-9346 ⑥	 △須賀精二 江戸川2-8-1 3679-4445 ⑤	 △田中寿一 船堀3-1-3 5679-0413 ②	 大西洋平 篠崎町2-401-7-305 5664-2024 ①	 ○関根まみ子 春江町4-18-10-102 3653-7553 ②	 ○窪田龍一 中葛西2-26-10-1005 3686-1939 ②	 佐々木ゆういち 北葛西5-4-15 5605-9262 ①	 竹平ちはる 東小岩1-15-11-103 5876-7376 ①
 斉藤まさたか 北小岩8-24-6 3672-5849 ②	 田島つとむ 春江町2-41-12 3670-2426 ②	 早川和江 松本1-10-6 5678-0777 ③	 川口としお 南葛西6-13-14 3675-5994 ⑥	 所たかひろ 新堀1-13-7 3670-0334 ①	 太田きみひろ 平井6-32-2 6657-2641 ①	 堀江そういち 西小岩2-17-1-603 3658-8597 ②	 伊藤てる子 中葛西5-2-7-309 6903-7742 ②
 島村和成 平井5-51-12 3617-3471 ⑥	 田島すすむ 鹿骨4-21-2 3670-7716 ⑥	 八武崎一郎 新堀1-12-7-101 3678-8213 ⑦	 片山ともりのり 東小岩6-25-14 3650-0687 ⑩	 うざわ悦子 東葛西6-4-14-501 3686-7461 ③	 竹内すすむ 松江3-14-19 3652-6798 ④	<p>一人の会 1名 直通(5662)2739 http://www.t-ken.jp/</p> ◎田中けん 中央4-25-14 3248-0888 ⑤	
<p>民主・ネット・ えどがわ 5名 直通(5662)5116 http://minshu-net-edogawa.jp/</p>	 ◎中里省三 東小松川2-11-20 3652-8725 ②	 ○新村井玖子 清新町1-1-4-204 3877-6294 ②	 △滝沢やすこ 平井2-24-3-103 5609-8111 ②	 △えぞえ亮一 南篠崎町5-12-2-803 3677-6622 ②	 金井茂 北小岩6-16-1-2F 5668-2636 ①	<p>無所属クラブ 1名 直通(5662)1993 http://www.5f.biglobe.ne.jp/~knagato-gikai/</p> ◎木村ながと 西葛西1-6-11-202 5675-5690 ④	
<p>日本共産党 江戸川区議員団 4名 直通(5662)5113 http://jcpedogawa.jp/</p>	 ◎セバタ勇 平井2-25-15-504 3636-3265 ⑧	 ○小俣のり子 中央2-22-4 3655-4422 ③	 大橋みえ子 中葛西8-6-2 5674-3753 ①	 間宮由美 松江7-11-7 5661-5051 ④	 志士の会 1名 直通(5662)2752 ◎中津川まさあき 南篠崎町1-22-2 3678-1660 ①		
<p>みんなの党 3名 直通(5662)0694 http://edogawa-your-party.com/</p>	 ◎上田令子 船堀2-11-18 3878-9032 ②	 ○ふかえ一之 本一色1-28-7 3655-3337 ③	 △ます秀行 南葛西7-5-16-B305 6662-7890 ①	<p>自民党日本 1名 直通(5662)1993</p> ◎須賀清次 東葛西4-27-13 3688-7001 ④	<p>区議会だより編集委員会 (◎委員長 ○副委員長) ◎高木ひでたか ○川瀬やすのり 中里省三 セバタ勇</p>		

江戸川区議会 第1回定例会 2月20日(月)～3月23日(金)開催予定